

# 植生基材マット カンガルーマット®

適用土質	砂質土	粘質土	礫質土	岩塊玉石※	軟岩Ⅰ		軟岩Ⅱ
	●	●	●	●	A	B	

※岩塊・玉石まじり土で、その部分が30%程度のものです。



## 確実な緑化が可能！

大型の植生基材袋を30cmピッチで装着した薄綿付のマットで、硬質土や風化軟岩地でも長期にわたり安定し、植生基材吹付t=3cmと同等の緑化効果があります。

## 安定した植生基盤

高強度のネットと植生基材袋により等高線状の小段を形成するので、表層の微粒土壌や植生基材の移動・流失を防止し、安定した植生基盤を築きます。



## 標準規格

製品名	製品規格			ネット				1袋入数
	幅	長さ	植生基材袋間隔	素材	形状	目合	色	
カンガルーマット	1m	10m	30cm	ポリエチレン	2重編ネット	12×20mm	ブラック	10m <sup>2</sup>

(注) ブラワッシャーは含んでいません。

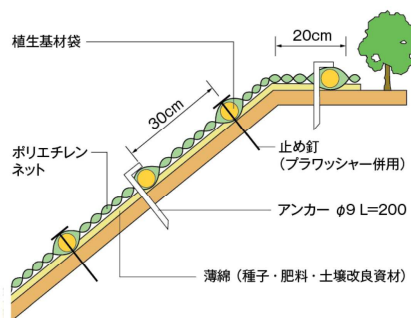
## 施工手順

- ① のり面の雑草、浮土砂、浮石などを除去し、マットが密着するよう清掃を行う。
- ② のり肩部を20cm程度巻き込み、薄綿の付いている面をのり面へ密着するように展開する。
- ③ 左右の重ね幅は2cm程度、上下の重ね幅は10cm程度とする。
- ④ マットは、植生基材袋を等高線状に展開する。
- ⑤ 所定本数のアンカー・止め釘を規定の間隔・箇所に打ち込み密着させる。

注1) 降雨・強風時の施工は避けてください。

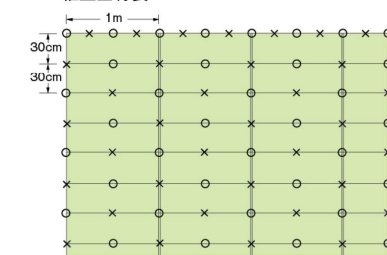
- 2) 日陰で風通しのよい乾燥した場所に保管してください。

## 標準断面図



## 標準打設図

- アンカー (φ9 L=200)  
× 止め釘 (ブラワッシャー併用) L=150  
— 植生基材袋



100m <sup>2</sup> 当たりの本数 (10×10m)	
○ φ9 L=200	378本
× L=150	356本

アンカー・止め釘規格、打込み位置については標準として示しておりますので、現地条件に合わせて適宜対応してください。